

教育委員会会議録（9月定例会）

日 時

平成30年9月27日（木）
午後1時30分から午後2時30分まで

場 所

日立市役所 庁議室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	土屋 静治

委員以外の出席者

教育部長	窪田 康德
総務課長	松本 正生
学校施設課長	石川 渉
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	中島 修
学務課課長	鈴木 伸治
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課長	木下 俊雄
指導課長	折笠 良平
指導課課長	稲田 訓子
郷土博物館長	豊田 瑞穂
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	山田 美幸
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
保健福祉部子ども局長（兼）子ども施設課長	大窪 啓一
総務課課長補佐（兼）庶務係長	鷲 秀哉
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課主幹	吉野 成実
総務課主幹	芳賀 秀人

議 事

報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

その他

- (1) 平成 30 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 日立市立幼稚園及び認定こども園における指導要録の様式変更について
- (3) 平成 31 年度日立市立幼稚園等の園児募集について
- (4) 教育委員会関連行事等について
 - ア 百年塾フェスタ&日立市子どもまつり 2018 について
 - イ いきいき茨城ゆめ国体開催記念 ぶら・スポ フェスタ 2018 について
 - ウ 南部図書館入館者 100 万人達成セレモニーについて

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から9月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が1人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 9 号 教育委員会8月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第9号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 そ の 他

(1) 平成30年第3回市議会定例会について

教 育 長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 平成30年第3回市議会定例会については、平成30年9月6日
(木) から9月28日 (金) の会期で行われています。

質問及び答弁の概要ですが、教育委員会関連としては、一般質問
のみで、議案質疑はございませんでした。

今回の質問におきましては、今夏、愛知県豊田市で暑さによる死
亡事故があったことから、エアコンについての御質問を4名の議員
からいただきました。下山田 幹子 議員から「猛暑対策について」、
小林 真美子 議員から「小中学校における熱中症対策について」、
伊藤 智毅 議員から「異常気象等への対応について」、今野 幸樹 議
員から「校舎・体育館の暑さ対策について」、いずれも、今夏の暑
さ対策のため何を行ったのか、あるいは、エアコン設置について市

の見解を伺うというものでした。これらについては、毎日、熱中症指標を1日2回ずつ学校に配信し、注意喚起を行ったということ、エアコンについては来年6月までに全ての普通教室に設置できるよう進める旨の答弁をいたしました。

また、ニュースでも報道がありました小中学生の荷物の多さについても、2名の議員から御質問がありました。薄井 五月 議員から「小学校の通学時の荷物について」、今野議員から「小中学生が登下校する際の荷物の重さについて」というものでした。このことにつきましては、今月、文部科学省から配慮するよう通知があったところです。日立市においては、かねてから絵具類や習字道具などの学校用具は学校に置いておくという対応を行ってまいりました。一方、小学校における4教科、中学校における5教科の主要教科については、家庭学習のため持ち帰りを原則としておりました。しかし、特に小学校低学年では、荷物が重いという実態がありますので、学校での管理が徹底できるよう、必要に応じて備品等の整備を行い、荷物の軽減に努めていく旨答弁いたしました。

その他の質問について、御説明いたします。

まず、小林 真美子 議員です。

「幼児教育について」御質問がありました。

昨年3月の幼稚園教育要領の改訂を受けて、日立市では、どのように取り組もうとしているのか伺うというものです。この度の改訂で大きい部分は、幼児教育が終わるところでの望ましい姿を明確化したこと、つまり小学校との接続を円滑に行うことにあります。かねてから言われている「小1ギャップ」を課題の1つに挙げ、本市では平成27年に「保幼小連携ハンドブック」を作成し、これに基づき、保育園・幼稚園と小学校の円滑な移行の推進にすでに取り組んでいる旨説明し、今後も教職員等の合同研修や相互の授業参観等の取組により推進していくと答弁いたしました。

続いて、館野 清道 議員です。

「小中学校の再編について」御質問がありました。

まず、日立市の再編の検討に着手した経緯について伺うというものです。こちらについては、学校の小規模化の進行が懸念される中で、そのデメリットが数多く指摘されており、将来にわたって子どもたちのより良い学習環境の実現を図るため、日立市では、平成28年度から小中学校の再編の検討に着手した旨答弁しました。また、平成21年以降の県内の学校統廃合の状況についても質問があり、学校再編計画を策定している自治体数は、県内44市町村中21市町、統廃合を行った自治体は、平成21年以降、26市町であると回答しました。

次に、第1、2回の地域懇談会について、地域や保護者から出された意見を、今後どのように計画にいかしていくのか伺うという質

問がありました。こちらについては、いただいた様々な御意見を日
立市立学校適正配置検討委員会に報告し、学校適正配置基本方針の
検討にいかしたことで、今後の計画の策定過程においても、改めて
意見をいただく機会を設けたいと考えている旨答弁しました。

次に、小中学校の再編に関する保護者懇談会の主な意見につい
て、どのようなものが出されているか伺うという質問がありまし
た。こちらについては、今年度、中学校区ごとに15校で29回実
施した中で、通学時の安全確保や児童クラブの受入れに対する不
安、学区の見直しなど、保護者ならではの視点から、多くの御意見
や御提案をいただいている旨答弁しました。

次に、学校適正配置基本方針で留意事項の一つに位置付けている
地域への配慮について、今後、学校と地域の連携をどのように図る
のか伺うという質問がありました。こちらについては、これから計
画の素案作成に入るところですので、まとめ次第、地域懇談会や
パブリックコメントなどを通じて改めて意見を伺う機会を設けた
い旨、また、一方で昨年度から学校運営協議会制度の導入も進めて
いるところですので、学区コミュニティに参画していただいております
ことから、順次全校に制度の導入を進めていく中で、再編計画
についても、地域の方々から意見をいただきながらまとめていく旨
答弁しました。

次に、再編計画の策定期間が延びた経緯について、また、保護者
から、学校再編の青写真を示して欲しいとの意見が出されていると
聞かすが、これに対する市の考え方について伺うという御質問があり
ました。こちらについては、学校の再編については、通学環境や放
課後の居場所など多角的な検討が必要であり、地域や保護者からも
様々な意見をいただいていることから、丁寧に時間を掛けて取り組
む必要があるとの判断に至ったため、策定期間を延ばした旨答弁し
ました。また、学校再編の青写真を提示することについても、丁寧
な検討が必要と考えており、今後も子どもたちにとってより良い学
習環境を目指すため、議論を尽くし、計画を策定していく旨答弁し
ました。

続いて、伊藤 智毅 議員です。

「小川市長1期の自己評価や政策課題の認識等について」御質問
がありました。その中の教育に関することの1点目として、総合教
育会議議長としての教育政策の評価と課題総合教育会議の議長で
ある小川市長は、市のトップとして、どのような思いで日立市の教
育政策を展開してきたのか伺うというもの、2点目として、小川市
長は、日立市の教育政策をどのように評価し、教育政策における課
題をどのように認識しているのか伺うという御質問でした。これら
につきましましては、副市長から答弁いたしました。

まず1点目に対しましては、ひたちらしさをいかした教育で、心

身ともに健やかな子どもたちを育てていくことが、本市の教育政策の基本であり、教育はまちづくりを進める上でも、とても大きな可能性と鍵を握っており、「日立市で教育を受けさせたい」と思っただくことは、人口減少対策の一つとしても有効であるため、将来、一人一人が社会で輝くことができるよう支援していきたいとの思いを強くしている旨の答弁いたしました。

2点目に対しましては、本市では「ひたちらしい」教育として、英語体験学習や職業探検少年団、日立理科クラブの活動等の教育を展開していることを例として挙げ、一方で、いじめや不登校など、社会情勢の変化に伴う課題が発生しており、先生方が教育活動に専念できる環境を整えていくことが求められていると認識していること、さらに、地域とともにある学校づくりを進めながら、総合的に子どもたちを支えることができる安全・安心な居場所を確保することが大切であると説明し、教育は人の一生の基礎をつくるものであることを常に念頭に置きながら、ひたちらしさを発信できる、特色ある教育の実現を目指していきたい旨答弁しました。

続いて、薄井 五月 議員です。

「SDGsの実現について」質問がありました。

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、持続可能な開発目標のことです。この中には17の目標があり、その1つに教育分野としてESD (Education for Sustainable Development)、持続可能な開発のための教育があります。日立市におけるSDGsの教育の現状と今後の取組について伺うという御質問でした。これに対しまして、本市では、平成25年度から「日立の学校教育」にESDを位置付けており、全ての学校の経営方針に掲げて取り組んできたこと、今後も引き続きESDの理念等について、学校教育全体を通して推進していくことについて答弁いたしました。

次に、先程荷物の重さについても説明しましたが、「負担の少ない学校生活について」、運動会においての課題についても御質問がありました。学校敷地内での喫煙は全面禁止とされているが、校門前で喫煙する姿が見受けられるので、子どもたちの受動喫煙防止の観点から禁止することは難しいことか、見解を伺うという御質問でした。こちらについては、運動会に限っては校門の外などに灰皿を置いている例があり、御指摘のとおり、子どもたちの受動喫煙の心配があるのも事実ですので、今後も、保護者や地域の皆さんに、学校周辺での喫煙の自粛について御理解と御協力を得られるよう働き掛けていく旨答弁しました。

また、小学校の運動会では、昼食時の子どもたちのお菓子交換が恒例となっており、その準備が保護者にとって負担となっている現状があるため、対処する考えがあれば伺いたいという御質問もありました。こちらについては、子どもたちにとって、運動会は心待ち

にする行事の一つであります。運動会が目的をもった学校行事の一つであることを踏まえると、行き過ぎたお菓子の交換等は、避けるべきものと考えますので、各校においてPTAとともに見直しを検討していく旨答弁いたしました。

次に、小学校の卒業式について、卒業生の服装が華美になっている傾向があり保護者の負担となっているため、中学校の制服を着て卒業式に臨むことがふさわしい姿だという御提案があり、現状認識と今後の対応を伺いたいという御質問がありました。こちらについては、過去には、中学校の制服で参加することを推奨した経過もあり、その後様々な経緯を経て、現在は自由服としていることを説明した上で、今後も児童と保護者の自主性に配慮しながらも、卒業式の目的に沿った華美とならない服装とすることを基本に、保護者の理解を得られるよう働き掛けていきたい旨答弁しました。

続いて、今野 幸樹 議員です。

「子ども議会について」御質問がありました。8月に実際に議場で子ども議会を開催したことを受け、子ども議会開催後の展開と効果の活用について、子ども議会開催によって得られた効果をどのように活用していくのか伺うという御質問でした。こちらについては、子どもたちにとって市議会が身近な政治の場であることに気付き、「主権者」として市政に関わっていくことへの意識を高められたという成果があったことを述べた上で、今後様々な場面で、「子ども議会」のDVDの視聴や子ども議員として参加した生徒が発表する場を設けるなど、議会や政治の仕組みなどを理解し関心を高められるよう活用の機会を検討していきたい旨答弁しました。

続きまして、教育福祉委員会について報告いたします。

まず、議案については、平成30年度日立市一般会計補正予算（第2号）の教育委員会所管部分として、5月に御寄附いただいた寄附金を歳入として受け入れ、未来をひらく子ども教育基金への積立てを行うものについて、また、豊浦小学校校舎改築事業に伴う、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の請負契約の締結について、御審議いただきました。

報告については、平成29年度日立市一般会計継続費精算についての教育委員会所管部分で、久慈小学校改築に伴う進入路の整備に関する継続費の精算について報告しました。また、平成29年度日立市基金運用状況について、日立市奨学金貸付基金の運用状況について報告いたしました。

例年9月に行われる決算審査特別委員会におきましては、平成29年度決算の認定について教育委員会の所管部分について、御審議いただきました。また、現地調査といたしまして、平成29年度事業として行われた日立武道館の整備事業について、2階部分や観覧席等を整備したものについて、調査いただきました。

これらの議案等については、明日の本会議で全て議決される見込みとなっております。

委員 各議員、学校現場で問題となっていることをしっかり捉えていただいた上で質問及びそれに対する答弁がされていたと思います。エアコンの問題は解決に向かっていると思いますが、子どもたちの荷物についてなど課題が残っていますので、学校現場で困っていることはぜひ丁寧に、学校、保護者、PTAがうまく連携してより良い方向に向かうよう進めていただきたいと思います。

一般質問の中で、薄井議員から小学校の卒業式に関する御質問がありました。最近私も卒業式に出席する機会が多く、年々華美になっているということについては同感です。このままいくと、卒業式にふさわしくない服装が、特に女子に多く見受けられるようになっていくかと思います。答弁の中に「保護者の理解を得られるよう働き掛けていきたい」とありますが、具体的にどのような方法を考えているのか、お伺いできますか。

指導課長 小学校の卒業式の服装、特に女子児童の服装については、数年前から様々な御意見をいただいているところで、現在女子児童のほとんどがアイドルグループのような装いや、羽織袴を着るなどの状況が見受けられ、それに伴い、保護者の負担増が心配されています。学校といたしましても、6年生の保護者を対象に、厳粛な式にふさわしい服装、華美にならない服装についての便り等を出し、理解・協力を求めているところです。

しかし、厳粛な式にふさわしい服装、華美にならない服装が明確に伝えられないことが学校としても苦しいところではないかと考えております。保護者においても、子どもにとって一生に一度の卒業式であるため、子どもの思う服装で出席させたいと考えている方もいらっしゃると思います。

そのような中で、まずは、日立市立小・中学校PTA連合会の役員の皆様とお会いする機会が比較的多くありますので、まず各学校の現状を探り、保護者の立場から現在の卒業式での服装について、どのような意見をお持ちなのか、つかんでいくところから始めたいと考えております。

併せまして、学校から要望があった場合には、例えば保護者向けの便りを発行する際に、学校長と教育委員会連名で出すなどの方策も考えられますので、引き続き対応策について検討してまいりたいと考えております。

委員 この教育委員会定例会でも再三お願いしてまいりました教室へのエアコン設置について、極めて短期間で設置について決断いただ

きました。来年はきっと良い環境で子どもたちが教育を受けられると思います。ありがとうございました。

荷物の重さについてですが、子どもたちが学校に教科書等を置いたまま家庭学習を行うため、新たに資料を作成する必要が出てくるかもしれません。それに伴い、教職員の負担が増えることのないよう、御配慮をお願いいたします。

加えて、置いておく荷物の管理・保管が適切にできるよう、設備の改善等の対応についても御検討いただきたいと思います。

指 導 課 長 教科書やノートを置いておくことを認めることで家庭学習に支障が出るのが考えられること、逆に、家庭学習のために教科書等を持ち帰らせることで負担軽減にならなくなること、両方の面で非常に悩ましいところではあります。

それらの対策としてプリントを用意することで荷物の負担軽減を図るという提案をしておりますが、学校に対しては、必要に応じて、無理のない範囲で対応するよう伝えております。

また、荷物の管理については、部長からの説明にもありましてしており、市内の全ての学校で、習字道具や絵具類の学習用具、一部の資料集等は、学校に置いていくことを許可しております。いまのところ、いたずらや盗難等の報告はなく、子どもたちも節度を持って取り扱っているのではないかと考えております。

しかしながら、置いておくものが増えることで、保管場所や管理に関する課題を持っていることは確かですので、学校によって施設面の条件は様々ですが、課題が生じた場合は、学校施設課又は指導課に相談いただき、学校ごとに対応していきたいと考えております。

委 員 小学校の卒業式の日、授業日扱いになるのか、それとも授業日ではない特別な行事の日という位置付けになるのか、どちらなのでしょう。

指 導 課 長 卒業式は、教育課程における学校行事という位置付けとなり、授業日扱いとなっています。

委 員 保護者の立場からすると、運動会や卒業式が授業日という感覚が抜け、イベント感覚となっている方が多いのかもしれませんが。保護者に対し、PTA連合会等を通して、これらの行事が授業日であるという意識付けをしていく必要があると思います。

(2) 日立市立幼稚園及び認定こども園における指導要録の様式変更について

教 育 長 それでは次に、その他(2)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 指導要録は、幼児が幼児教育施設に籍を置いていること、教員が個々の幼児に対して指導した内容と、それに対する幼児の成長の様子について記録したもので、その後の指導に役立てることや、外部に対する証明等になるものでもあります。

今回、文部科学省から指導要録の改善について通知があったことから、本市の幼児教育で育てたい3つの力（生活する力、人とかかわる力、学ぶ力）を踏まえ、環境が変わっても、子どもが持っている力を伸ばすことができるように、発達を捉える視点について変更いたしました。

要録内の主な変更点について説明いたします。まず、幼稚園園児指導要録についてです。幼稚園教育要領にあります「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに、指導要録内のねらいの部分に、「見通しを持って行動する」「工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わう」「言葉に対する感覚を豊かにする」といった発達を捉える視点において一部追記いたしました。

次に、認定こども園園児指導要録についてです。4～5歳児用の指導要録に、0～3歳児までの記録を記入する欄を新たに設け、継続した指導ができるよう役立てたいと考えております。また、指導要録のねらいの部分に、幼稚園園児指導要録と同様の追記をしております。

また、その他の変更点として、年度の記入欄に今まで「平成」の表記を入れておりましたが、新しい元号の制定を考慮し、表記を削除し、記入できるよう対応いたしました。

なお、これらの新しい様式については、平成31年度から使用する予定です。

(3) 平成31年度日立市立幼稚園等の園児募集について

教 育 長 それでは次に、その他(3)について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長 平成31年度の園児募集について、前年度からの主な変更点を中心に御説明いたします。

まず、高鈴幼稚園の4歳児の募集については、当初募集の停止を検討しておりましたが、2020年4月に中小路幼稚園への転園を予定するという条件付きで募集を行います。こちらについては、来年高鈴幼稚園の4歳児の募集を停止した場合、最寄りの公立園とし

ては中小路幼稚園を想定しております。中小路幼稚園は、中小路小学校敷地内にあり、園舎の耐震化が済んでおりますので耐震性には問題がなく、特別支援学級のさくら組とことばの教室もあることから、当面存続させる園としていただいております。中小路幼稚園の在園児数ですが、現在も4歳児の在籍はなく、5歳児に上がる児童はおりません。来年、高鈴幼稚園の園児募集を停止した場合、高鈴は5歳児のみ、中小路は4歳児のみという幼稚園運営となります。幼稚園教育において、4歳児・5歳児ともに在園していることが相互交流という意味からも大切なことですので、この点を留意し募集することといたしました。平成31年度については、高鈴幼稚園において4歳・5歳がともに園生活を送り、2020年度に5歳児として中小路幼稚園へ転園することとなります。そうしますと、この時点で高鈴幼稚園の園児募集を停止することとし、この近隣で公立幼稚園を希望する方については、中小路幼稚園にお入りいただくということで、2020年度も4歳・5歳がそろって園生活を送ることができるのではないかという見込みで、このような募集方法といたしました。

塙山幼稚園については、近隣にあり老朽化が進んでいるかねさわ保育園との統合による、認定こども園化のための工事を進めているところです。認定こども園へは2020年4月から移行しますので、来年4月に塙山幼稚園に入るお子さまについては、1年目は幼稚園として、2年目は認定こども園となることを御理解いただいた上での入園をお願いする予定です。

水木幼稚園については、4歳児の募集はなく、5歳児のみでの園生活となります。

南高野幼稚園については、来年5歳児に上がる進級予定児もいないことから、4歳児・5歳児ともに募集を行わず、実質的に来年4月から休園となる見込みです。

園児募集は10月から開始されますが、市立幼稚園の今後の園児募集については、園舎の老朽化が著しい園において、2年連続4歳児の新入園児が10人を下回った場合、原則として翌年度の新入園児（4歳児）の募集は行わないこととしていますので、このことは市報に掲載し周知を図ってまいります。

なお、少子化の進展に伴う市内の幼稚園の在り方については、平成25年度の日立市幼児施設のあり方検討会議での方針を踏まえ、公立幼稚園が人数調整の役割を担うこととしています。そのため、今後公立幼稚園の数は減っていきませんが、市内全体の幼稚園希望者のニーズに対しましては、公立・私立が連携して対応することとしています。今回募集を停止する水木幼稚園、南高野幼稚園については、近隣の私立園を含め、受入れ体制を整えているところです。

委員 高鈴幼稚園の園児が2020年4月に中小路幼稚園へ転園する予定とのことですが、高鈴幼稚園に通う園児の平均的な居住地から考えて、中小路幼稚園へ通園する場合の距離はどの程度になるのでしょうか。また、それに伴う通園手段について、どのように考えていますか。

子ども施設課長 現在、高鈴幼稚園在園児は、4歳児8名、5歳児7名いらっしゃいますが、このうち約8割が保護者の車で送迎をしています。公立幼稚園においては、これまでは徒歩での通園者が多かったのですが、最近では近くても車で送り迎えする方が多い状況にあります。また、園までの距離は、園児によってかなり差があり、徒歩で通う園児もいれば、自宅から離れていても高鈴幼稚園を希望する方もいます。基本的に高鈴幼稚園の園児が小学校に進学する際は、仲町小学校に入る場合がほとんどですので、通園者の自宅も仲町小学校の通学範囲内の方がほとんどです。

通園距離が長くなることへの対応についてですが、現在、公立幼稚園で通園のための支援を行っているのは、中里地区にお住いの園児に対してです。中里幼稚園休園時に、市街地から中里地区までを送迎しているバスを持つ私立幼稚園がないことから、高鈴幼稚園に通う園児については送迎用の車両を用意し、現在も2人の園児が、中里地区から高鈴幼稚園までのバスを利用しています。中里地区については、今後高鈴幼稚園が休園となった後も引き続き、中小路幼稚園までの送迎車両を提供する予定です。

それ以外の地区の園児については、現在も送迎車両の提供は行っておらず、保護者が自家用車で送迎している場合もあります。一方で、私立幼稚園では送迎バスを用意して対応に当たっているところもあり、今後は、公立・私立の区別ではなく、市内全域について、公立私立が連携して対応を担っていくことで、公立幼稚園に統廃合に対する通園車両の提供については、現在想定はしておりません。

(4) 教育委員会関連行事等について

教育長 それでは次に、その他(4)、教育委員会関連行事等について、まず百年塾フェスタ&日立市子どもまつり2018について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 今年で、百年塾フェスタは27回目、日立市子どもまつりは31回目を迎えます。これらのイベントは例年別々に行っておりましたが、かねてから連携して、それぞれのイベントに出展・出演するなどの対応をしまりました。今年度は、ひたち生き生き百年塾推進本部が30周年を迎えることから、両団体が連携し、新たに共同

開催とすることとして、あらゆる世代の方々が楽しみながら生涯学習に触れる場を創出する機会となると考えております。

日時は、10月28日（日）午前10時から午後3時までで、日立シビックセンター新都市広場、マーブルホール、ギャラリーを会場といたします。

内容についてですが、新都市広場に設けるステージでは、子ども会の創作ダンスや百年塾市民教授の活動発表、明秀学園日立高等学校ダンス部のチアダンスのほか、正午からは会場全体でラジオ体操を実施します。また、マーブルホールでは、主に百年塾の活動紹介として、市民教授による作品の展示、発表、指導体験が中心となりますが、人形劇や紙芝居など親子で楽しめる「生き生き子ども劇場」というコーナーも設ける予定です。ギャラリーでは、小学校区を単位とした学区子ども会の活動紹介や、30周年を迎えるひたち生き生き百年塾の説明やこれまでの活動をパネルにして展示する予定です。

その他、新都市広場においては、日立市子ども会育成連合会によるチャレンジゲームや、日立第二高等学校の学生を中心とした市民の皆さんによる「お花のじゅうたん」、「ひたちグルメマーケット」などの出展をいただくほか、会場内のゲームや体験に参加していくスタンプラリーやハロウィンパレードなど盛りだくさんの内容となっております。さらに、会場では子ども会や百年塾のスタッフとして、小学生から大学生まで、多くの子どもたちや学生、市民の方にボランティアとして関わっております。子どもたちに楽しんでいただくことはもちろんですが、多くの方に来場いただき、生涯学習を始めるきっかけとなればと考えております。

教 育 長 続きまして、いきいき茨城ゆめ国体開催記念 ふら・スポ フェスタ2018について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 公益財団法人日立市体育協会において、10月7日（日）に池の川さくらアリーナ及びアリーナ前駐車場等のスペースを使用して開催するものです。

この「ふら・スポ フェスタ」は、以前は「スポレクフェア」として実施しておりましたが、東日本大震災後、市民運動公園野球場に会場を移して開催しておりました。平成28年2月に池の川さくらアリーナ開館記念イベントとして開催した際に、現在の名称へ改め、内容をリニューアルし、現在に至っているところです。従いまして、「ふら・スポ フェスタ」としましては、今回が3回目となります。

開催時間は午前9時から午後3時まで、小雨決行ではありますが、雨天時は一部内容を変更して室内で開催することを予定してい

ます。

教 育 長 続きまして、南部図書館入館者100万人達成セレモニーについて、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 「くつろぎ ふれあい楽しむ 図書館」として、平成25年4月に開館しました南部図書館が、間もなく入館者数100万人を達成することから、これを記念しましてセレモニーを開催いたします。

開催時期は、10月上旬を予定しております。

内容としましては、100万人目の入館者に市長から記念品を贈呈していただきます。記念品は、絵本や南部図書館キャラクターのクジラちゃんをもとに、手作りのくじらのぬいぐるみ、市内の施設の無料券などを予定しております。

また、当日来館者への記念品として、南部図書館敷地内に植栽したラベンダーを刈り取った手作りのラベンダーのポプリを先着150名に、ある町の高い煙突の文庫本を先着50名にプレゼントすることを予定しております。

4 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 平成30年10月25日（木）午後1時30分から、日立市役所4階庁議室で開催予定です。

5 閉 会

教 育 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会9月定例会を終了します。

以 上